

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
23	鳥居 育世（1）	<p>1. 投票率向上について</p> <p>今年は選挙の年と言われ、3回の選挙が行われました。4月の統一地方選挙では静岡県富士市県議会議員選挙と富士市議会議員選挙、7月には参議院議員選挙と有権者にとっても今後の政治の流れを決める大事な年となりました。2015年に公職選挙法が改正され、投票できる年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられました。それから初めての統一地方選挙でもありました。</p> <p>富士市での投票率はどうだったのでしょうか。県議会議員選挙は41.07%、市議会議員選挙は42.56%、参議院議員選挙は44.74%と50%を切る結果となってしまいました。有権者がふえた選挙の開催で投票率が上がるのではないかと期待もありましたが、この結果に私もショックを受けました。</p> <p>全国的に若者の政治離れや、高齢化で有権者が投票に出かけられないなど問題が検討され、各自治体でも投票率の向上に苦慮しているのではないかと思います。富士市でも選挙管理委員会を中心に投票率向上のため、努力されているところではあると思います。</p> <p>今後の投票率向上につながる対策など以下の3点について伺います。</p> <p>(1) 若者の投票率向上のため行っていることはあるのでしょうか。</p> <p>(2) 小学生や中学生、富士市立高校生の主権者教育はどのように進められているのでしょうか。</p> <p>(3) 期日前投票の投票率は伸びていますが、今後、期日前投票の拡充や、高齢化に伴い、行きたくても行けない有権者に対して巡回型移動投票所についての検討はあるのでしょうか。</p>	市長 及び 教育長 担当部長 選挙管理委員会委員長